

ビジネス mopera テレメトリ ユーザーマニュアル

第 2.1 版
平成 28 年 9 月

NTTドコモ

改版履歴

更新日	版数	主な変更内容	頁
2011/1/31	1.0 版	初版	—
2011/3/14	1.1 版	DNS サーバの一部表記変更	—
2011/4/25	1.2 版	利用規約上の制限事項を追記	—
2011/11/25	1.3 版	対応モジュール記載変更	—
2012/2/1	1.4 版	送信通数制限についての記載を追記	—
2012/4/1	1.5 版	付加使用料無料キャンペーン終了に伴い該当箇所の記載を変更	—
2012/5/7	1.6 版	mopera ネットサーフィン及び DoPa サービスの終了に伴い該当箇所の記載を変更	—
2012/6/25	1.7 版	対応モジュール記載変更	—
2012/10/1	1.8 版	構成変更	—
2013/1/9	1.9 版	対応モジュール記載変更	P5
2013/3/29	2.0 版	対応モジュール追加	P5
2016/9/15	2.1 版	P6:(3)メール送信可能通数について追記 P7: ドコモ・プロスパート・プログラム終了済みのためリンクを削除	P6,P7

修正履歴

更新日	ページ数	内容
2014/2/20	P5	利用料金 105 円(税抜 100 円)を利用料金 100 円(税抜)へ変更

目次

第一章 サービス編	4
1. サービス内容	4
(1) 概要	4
(2) サービスの位置付け(他サービスとの比較)	4
2. 提供条件	5
(1) 提供条件	5
(2) 対応端末	5
3. サービス仕様	6
(1) 通信速度	6
(2) 提供機能	6
(3) メール送信可能通数	6
第二章 ご利用開始編	7
1. お申込前の確認事項	7
(1) 対応機器の確認	7
(2) 設定値の有効性	7
(3) ご利用規則のご承諾	7
2. 接続設定	8
(1) 接続設定条件	8
(2) DNS サーバの IP アドレス取得設定	8
(3) FOMA ユビキタスマジュールアダプタセットでの接続設定例	9
第三章 お問い合わせ編	10
1. お問い合わせ窓口	10
2. ホームページ	10

用語の定義

用語	意味
閉域接続	論理的・物理的にグループ内に閉じたデータ転送を行うこと。インターネットを経由しない場合も指す。
IP 着信	センター側から固定 IP アドレスへ通信が発生した時点で、あらかじめその固定 IP アドレスと紐付けされた FOMA ユビキタスマジュール機器と通信ができるようにできる機能。 ビジネス mopera テレメトリでは対応していない。
DTE 機器 (Data Terminal Equipment)	データ端末装置の略。通信網に接続された機器などのことであり、遠隔監視用途では漏電監視装置、温度監視装置などがある。
SMTP-AUTH (SMTP Authentication)	メールサーバの迷惑メール対策。 SMTP にユーザ認証機能を追加した仕様。 サーバとクライアントの双方が対応していなければならないものの、メール送信の際に SMTP サーバとユーザとの間でユーザアカウントとパスワードの認証を行い、認証された場合のみメールの送信を許可する仕様。 ビジネス mopera テレメトリで提供しているメールサーバを利用する本方式は利用できない。
SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	インターネットなどで電子メールを送信するためのプロトコル。サーバ間でメールのやり取りやクライアントがサーバにメールを送信する際に用いられ、通常 TCP 25 番ポートを用いる。
OP25B (Outbound Port 25 Blocking)	メールサーバの迷惑メール対策。 日本語に訳すと「外向き 25 番ポートのブロック機能」という意味で、スパム・メールやウイルス・メールなどの送信を制限する。TCP の 587 番ポートを利用し SMTP-AUTH とセットで利用される。 ビジネス mopera テレメトリで提供しているメールサーバを利用する本方式は利用できない。
APN (Access Point Name)	3G(FOMA)の packets 通信サービスにおいて、プロバイダへの接続先を指定するための識別情報。英数記号(例:mopera.ne.jp)を使用。
DNS (Domain Name System)	「255.254.253.0」等の IP アドレスを、「www.nttdocomo.co.jp」等の名前に置き換えたり、逆に IP アドレスに変換したりするシステム。
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	インターネットなどのネットワークに一時的に接続するコンピュータに、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコル。

第一章 サービス編

1. サービス内容

(1) 概要

「ビジネス mopera テレメトリ」は、FOMA ユビキタスマジュールを利用する小規模な遠隔監視に最適なインターネット接続サービス(以下 ISP)です。漏電監視や温度監視における異常発生時のメール通知など、あまり多くの通信が発生しないテレメトリ^{*1}を低コストで実現します。

*1 テレメトリとは、遠隔地にある計測器などのデータを、通信回線を使って収集するシステムです。

※「mopera ネットサーフィン」を遠隔監視用途でお使いにいたっていたお客様は、「ビジネス mopera テレメトリ」をお申しただけで接続先の設定等を変更することなくお使いいただけます。

「mopera ネットサーフィン」はご契約・月額使用料ともに不要の携帯電話向け ISP で、2012年3月31日に終了したサービスです。



(2) サービスの位置付け(他サービスとの比較)

異常発生時のみメールで通信を行うなど通信量が少なく、高セキュリティを必要としないお客様に最適なサービスです。



2. 提供条件

(1) 提供条件

契約種別	FOMA
対象料金プラン	FOMA ユビキタスプラン(S/M/S+LCS)
対応端末	FOMA ユビキタスモジュール ※詳細は「2.(2)対応端末」を参照
利用料金	100 円(税抜) ※日割計算可

(2) 対応端末

【対応製品】

- ・FOMA UM03-KO / FOMA UM03-KO 専用アダプタセット / FOMA UM03-KO 専用アダプタセット G
- ・FOMA UM02-KO / FOMA UM02-KO 専用アダプタセット
- ・FOMA UM02-F / FOMA UM02-F 専用アダプタセット
- ・FOMA UM01-KO / FOMA UM01-KO 専用アダプタセット (2010年3月 販売終了)
- ・FOMA UM01-F / FOMA UM01-F 専用アダプタセット (2009年7月 販売終了)

- ・FOAM UM01-HW (ドコモが提供している FOMA UM01-HW 専用アダプタセットはございません。
その為アダプタセットはメーカーブランド製となるため対応状況についてはメーカー様へご
確認ください。)

注意	メーカーブランド製アダプタについて 対応製品を内蔵していても、機器の組み合わせや仕様上の制約で利用できない場合がある為、メーカーブランドの通信機器をご利用の場合は、各メーカー様へビジネス mopera テレメトリ対応状況をご確認ください。
-----------	--

【非対応製品】

- ・FOMA TM01-SA (テレマティクスモジュール)
- ・FOMA TM02-KY (テレマティクスモジュール)
- ・FOMA UM02s-KO

3. サービス仕様

(1) 通信速度

通信方式はベストエフォート方式で、下り・上り最大 16Kbps です。

(2) 提供機能

メールアドレスの払出は行っておらずメール中継(転送)機能のみを提供しています。

注意	SMTP-AUTH・OP25B などの迷惑メール対策に対応していません。 ですが、送信元には必ず実在するメールアドレスを設定してください。
-----------	--

参考	メール送信先が携帯電話で、受信ができない場合は i モード(sp モード)などの迷惑メール設定が起因している場合があります。その場合、迷惑メール設定をすべて解除することで受信できるようになる可能性もあります。
-----------	--

(3) メール送信可能通数

1つの送信元メールアドレスから1日に送信できるメールは最大 1,000 通です。

1,000 通/日を超える利用が想定される場合はビジネス mopera テレメトリセンターへご相談ください。

参考	同報メールの場合、宛先ごとに1通ずつカウントされます。 通数制限によりメールが送信できなくなった場合でも翌日 0 時に解除されます。
-----------	---

尚、1,000 通を超えない場合においても、短い間隔での大量メール送信(大量の宛先への送信を含む)に対しては一時的に接続を制限する場合がありますのでご了承ください。

第二章 ご利用開始編

1. お申込前の確認事項

(1) 対応機器の確認

「第一章 2.提供条件 (2)対応端末」に掲載の FOMA ユビキタスモジュールアダプタセットでのご利用の他に、対応モジュールを組み込んだ DTE 機器でもビジネス mopera テレメトリをご利用いただけます。

DTE 機器メーカーよりビジネス mopera テレメトリの接続確認ができたことのご連絡をいただいた製品情報については一覧で掲載しておりますので、お申込前にご確認ください。

【DTE 機器メーカーでビジネス mopera テレメトリの接続確認ができた製品】

<http://www.docomo.biz/html/service/telemetry/machine.html>

注意	上記サイトに記載がない機器については、ビジネス mopera テレメトリをご利用いただけることを事前に DTE 機器メーカーにご確認いただきますようお願いいたします。
-----------	---

(2) 設定値の有効性

インターネットの IPv6 化や設備移設に伴い IP アドレスが変わるなど外的要因があった場合は、DTE 機器の交換や設定変更が必要となる可能性がありますのでご了承ください。

(3) ご利用規則のご承諾

ドコモ・ビジネスオンライン上のビジネス mopera テレメトリ規則についてご承諾いただいた上でお申込ください。

【ビジネス mopera テレメトリご利用規則掲載ページ】

<http://www.docomo.biz/html/rules/b-mopera/telemetry.html>

2. 接続設定

(1) 接続設定条件

接続先の電話番号や端末等に付与する IP アドレスなど、ダイヤルアップに関する利用条件については、次のとおりです。

各 DTE 機器での接続設定方法については、各 DTE 機器メーカーへお問い合わせいただくようお願いいたします。

回線種別	FOMA
接続先 APN	mopera.ne.jp
メール送信(中継)サーバの設定値	smtpn.mopera.ne.jp または mail.mopera.ne.jp
IP アドレス	自動付与
PDP-type	PPP
RADIUS 認証種別	PAP
DNS サーバの IP アドレス	自動付与
ダイヤルアップ接続時のユーザ名/パスワード	入力不要

(2) DNS サーバの IP アドレス取得設定

DNS サーバの IP アドレスは接続時に DHCP で渡すため「サーバが自動的に割り当てる設定」のみをサポートしています。

DNS サーバの IP アドレスを手動で設定する必要がある DTE 機器を利用している場合、設定についての問い合わせはビジネス mopera テレメトリセンターで受け付けております。

ビジネス mopera テレメトリセンターにお問い合わせがあった場合、お使いの DTE 機器名称・販売元名・連絡先・次期の DTE 機器での DHCP 対応予定を記録した上で開示いたします。

注意

DNS サーバの IP アドレスは将来設定変更しなければならない可能性があるため、将来にわたって設定を変更しなくても接続できるという担保はできかねます。
そのため、「サーバが自動的に割り当てる設定」を行っていただくようお願いします。

(3) FOMA ユビキタスモジュールアダプタセットでの接続設定例

FOMA ユビキタスモジュールへの通信設定の AT コマンド例を記載します。

- ・cid1 番にビジネス mopera テレメトリへの接続先を設定する場合

```
at+cgdcont=1,"PPP","mopera.ne.jp"
```

- ・cid1 番へ発呼する場合

```
atd*99***1#
```

- ・現在の設定を確認する場合

```
at+cgdcont?
```

第三章 お問い合わせ編

1. お問い合わせ窓口

センター名 及び 電話番号	受付時間と受付内容
ビジネス mopera テレメトリセンター (0120-575-660)	受付時間 : 10:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く) 受付内容 : ・ビジネス mopera テレメトリに関するお問い合わせ ・ビジネス mopera テレメトリの申込/廃止

2. ホームページ

ドコモビジネスオンライン上のビジネス mopera テレメトリ掲載ページ

<http://www.docomo.biz/html/service/telemetry/>